



LOVE POCKET FUND

事業紹介

新しい地図の3人と日本財団は協働で「LOVE POCKET FUND」(愛のポケット基金)を立ち上げました。まずは、2020年4月27日から、長期化が見込まれる新型コロナウイルス感染症の拡大に対し「新型コロナプロジェクト」として、寄付受付を開始しました。いただいたご寄付は医療の最前線で活躍している医師、看護師、ボランティアや子どもたちの支援などに活用いたしました。



2021年度のTOPIC

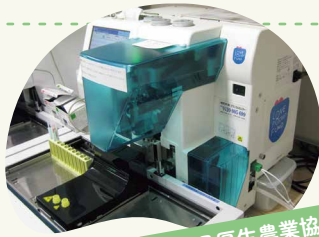
今後の社会秩序を維持し、新しい生活様式のなかでの人々の笑顔や安心安全を守るため、新型コロナウイルス感染症対策支援として、医療の最前線を担う感染症指定病院(特定・第一種・第二種感染症指定病院)へ、感染症対策のための機材等整備支援を行いました。

機材等整備支援

日本赤十字社成田赤十字病院(千葉県)



支援現場からの声



長野県厚生農業協同組合連合会
長野松代総合病院

新型コロナウイルス感染症対応のために多くの人員を割かなければならないところ、最新検査機材の導入により、検査業務の効率化が図られ、医療従事者の精神的・肉体的負担を減らすことができました。

2021年度の新型コロナウイルス対策に係る支援状況

2022年3月末時点

事業名	新型コロナウイルス感染症対策整備支援事業
事業内容	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応において、変異種による新たな感染拡大が危惧されるなか、医療機関の逼迫が続いています。 今後の社会秩序を維持し、新しい生活様式のなかでの人々の笑顔や安心安全を守るため、新型コロナウイルス感染症対策支援として、最前線を担う感染症指定病院(特定・第一種・第二種感染症指定病院)への整備支援を行います。 整備機器:人工呼吸器、空気清浄機(HEPAフィルター仕様)簡易陰圧装置(ブース)など
支援先	(独法)国立病院機構近畿中央呼吸器センター、(独法)国立病院機構愛媛医療センター、(学)埼玉医科大学埼玉医科大学病院、岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院ほか 合計34病院
支援金額	総額 163,290,000円

令和3年大雨被害に係る支援状況

以下の5団体へそれぞれ100万円ずつ教育環境の整備を支援

支援先	出雲市立鱒淵小学校
支援内容	棚、電子ピアノ、スタッキングチェア、ミニ卓球台 等
支援先	安芸高田市立八千代中学校
支援内容	工作台、跳び箱、プロジェクター、展示板、パーテーション 等
支援先	(学)たちばな学園 たちばな幼稚園
支援内容	園児用机、園児用椅子 等
支援先	ガラパゴス復興委員会
支援内容	ロッカー6人用3列2段鍵付き、イベントテント、ユニバーサルベンチ、デジタルカメラ 等
支援先	(社)まつみ福祉会こども園
支援内容	平均台A型、抗菌帆布カラーマット、テント、ライン引き、土俵マット、綱引きロープ、紅白玉入れ一式、遊具 等

数字で見る2021年度の実績

2020年4月27日の立ち上げ以来、累計で約5億円を超えるご寄付をいただきました。

